

第一部拡大役員会（第24期・第3回） 議事要旨

日時：平成30年5月31日（木）17時00分～18時00分

会場：日本学術会議 5-C 会議室

出席：松浦純（言語・文学）、戸田山和久（哲学）、亀田達也（心理学・教育学）、遠藤薫（社会学）、久留島典子（史学）、松本恒雄（法学）、古城佳子（政治学）、宮崎恒二（地域研究）、北村行伸（経済学）、上林憲雄（経営学）

役員：佐藤岩夫、藤原聖子、橋本伸也、町村敬志、三成美保（副会長）

（議事録作成：町村）

議題

- （1）前回議事要旨の確認
- （2）幹事会等の動きについて
- （3）定年に伴う補欠の会員の選考手続きについて
- （4）夏季部会について
- （5）第一部課題抽出アンケートの結果について（中間報告）
- （6）第一部の国際対応について
- （7）その他

- （1）前回議事要旨の確認

資料1に基づき、議事要旨を確認し、承認を得た。

- （2）幹事会等の動きについて

佐藤部長が幹事会等の報告をおこなった。HPでの提言等の公開の際、希望者はSDGsとの関連を表記できることに関し検討中であること、2019年に日本でG20が開催されることに関連してS20を日本で開催予定であること、が紹介された。

- （3）定年に伴う補欠の会員の選考手続きについて

参考資料1（従前の方法に関する聴き取りの結果をまとめた『補欠の会員』選考に関する第一部内の候補者推薦手続きについて）および同2（幹事会決定「補欠の会員の選考手続きについて」）に基づき、佐藤部長から、補欠の会員の選考手続きについて説明があった。今回の定年に伴う補欠会員の推薦については、従前の方針に従い、当該会員と同じ分野別委員会に対して候補者の推薦依頼を行うことについて了承を得た。

佐藤部長が提示した参考資料1「手続き」について、これを公式の申し合わせとして定めるかどうかについて、意見交換を行った。この点について、公式の申し合わせとすることへ賛成という意見、選考手続きの開始時期についての質問、候補者選考の手続き（任命権者）についての質問があった。

- （4）夏季部会について

町村幹事から、夏季部会等の予定について紹介があった。

(5) 第一部課題抽出アンケートの結果について（中間報告）

藤原副部長および佐藤部長から、資料3（「第一部課題抽出アンケートの結果について」）の結果を踏まえ、人文社会分野の意義のアピール、研究成果の海外発信やプレゼンスを高める努力、文理融合領域のあり方、若手研究者養成、「参照基準」に関連した調査について紹介があり、意見交換を行った。

(6) 第一部の国際対応について

藤原副部長から、人文系の国際対応に関わる点として、CIPSH（国際哲学・人文学会議）の活動に関する紹介があった。引き続き、CIPSHにおいて、国のアカデミーのアフィリエイト参加を可能にする規則改訂が行われたことを踏まえ、日本学術会議として参画する可能性について、意見交換を行った。その上で、学術会議としての参加の可能性を探ることについて、第一部拡大役員会として了承した。

(7) その他

・三成副会長から、学術会議 HP 充実に関連し、配布資料に基づいて、各分野別委員会、各分科会の紹介等の充実について協力依頼があった。

・今後の日程について、佐藤部長から下記のように提案があり、了承を得た。

8月30日（木）11時～13時

11月29日（木）11時～13時

1月31日（木）11時～13時

・国際リニアコライダー（ILC）計画についての文科省からの審議依頼について、佐藤部長から紹介があった。この件について、第一部に対しても委員依頼が予想されることを踏まえ、各分野別委員長に候補者について推薦を依頼した。

・科学研究費補助金助成事業による研究をめぐる最近の議論の動向について、関係の分野別委員会から紹介があり、意見交換をおこなった。

・サイエンスカフェについて、担当分科会の遠藤委員長から企画準備についての提案依頼があった。

以上